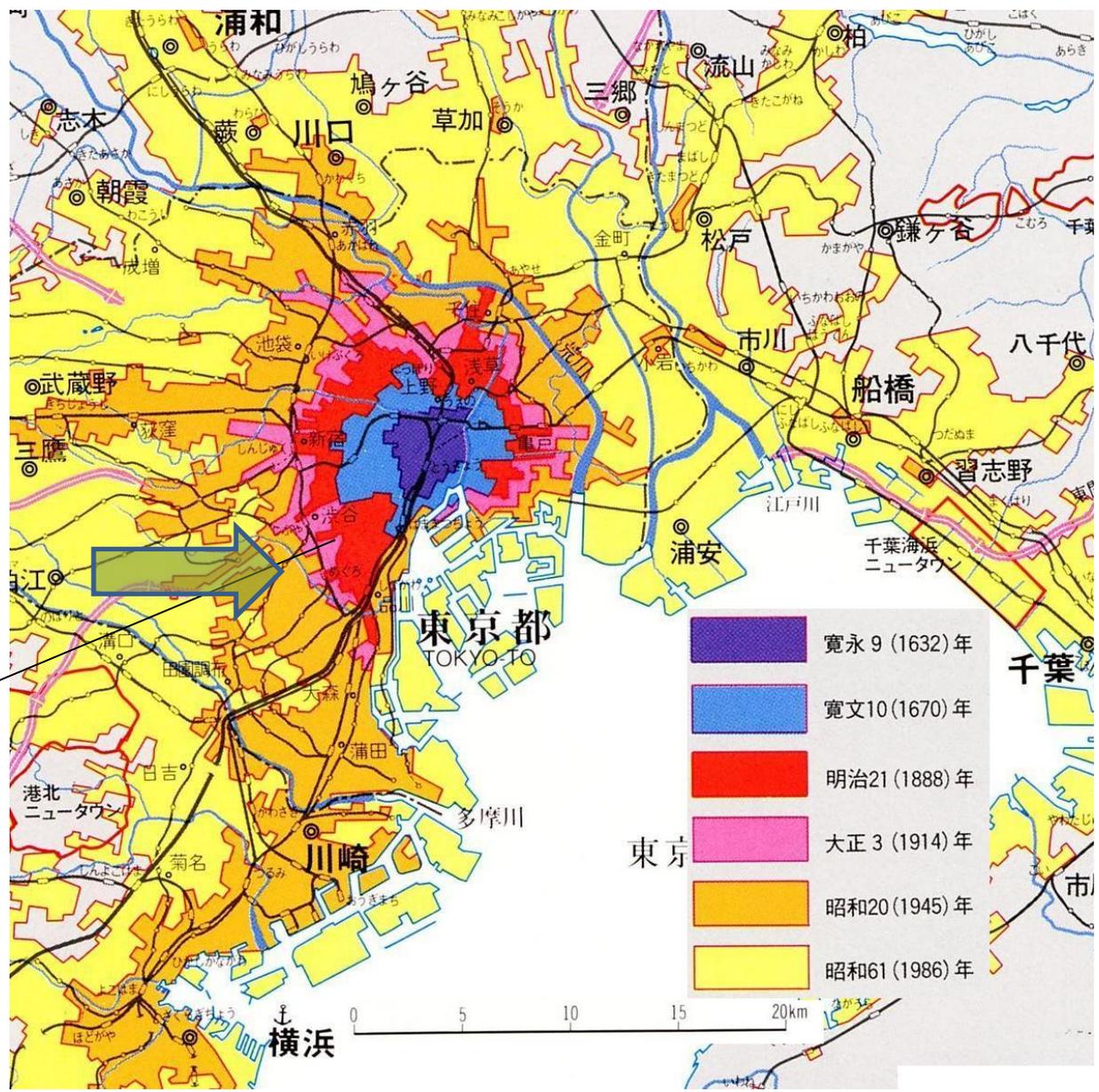


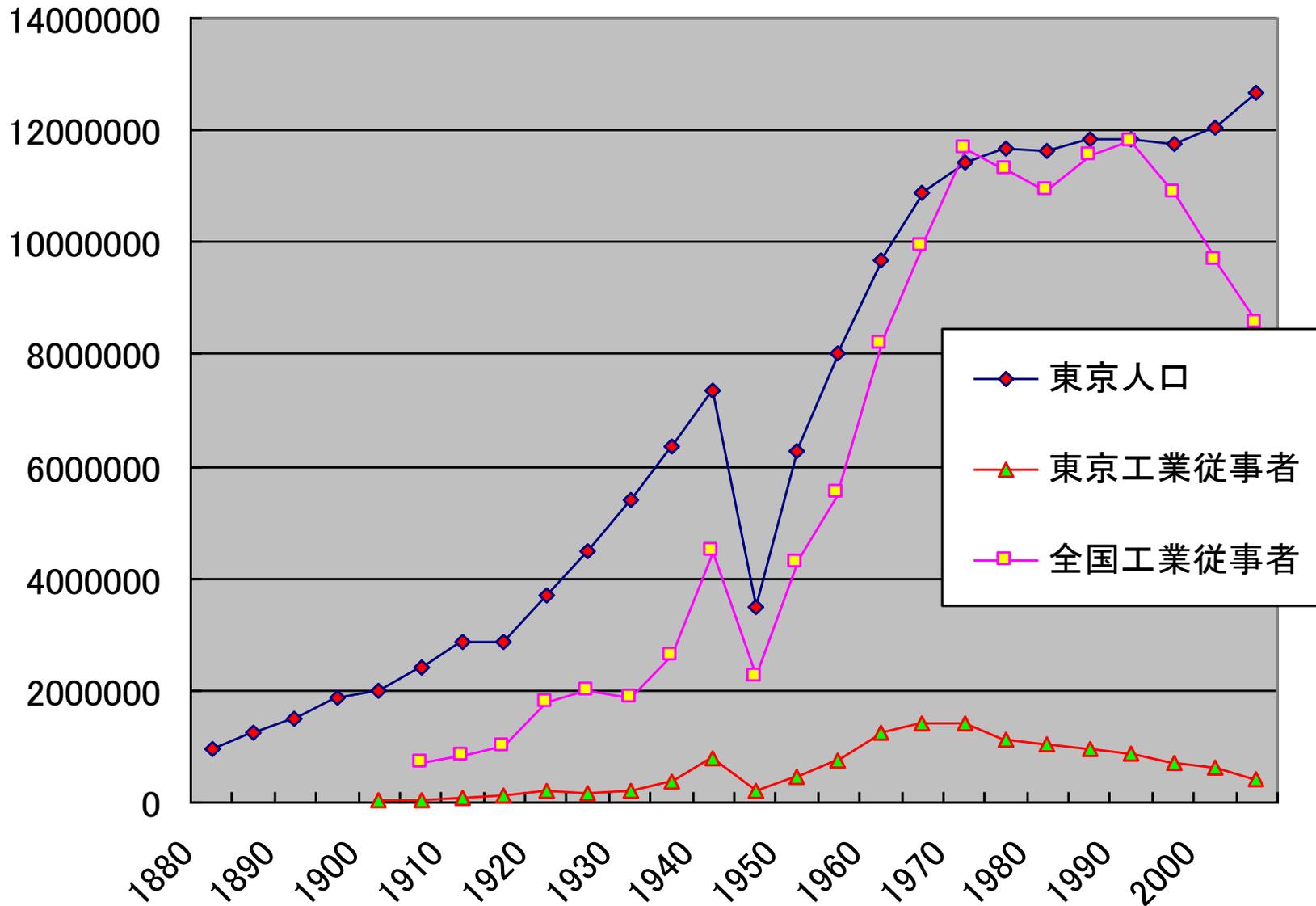
都市の中の工場

‡このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

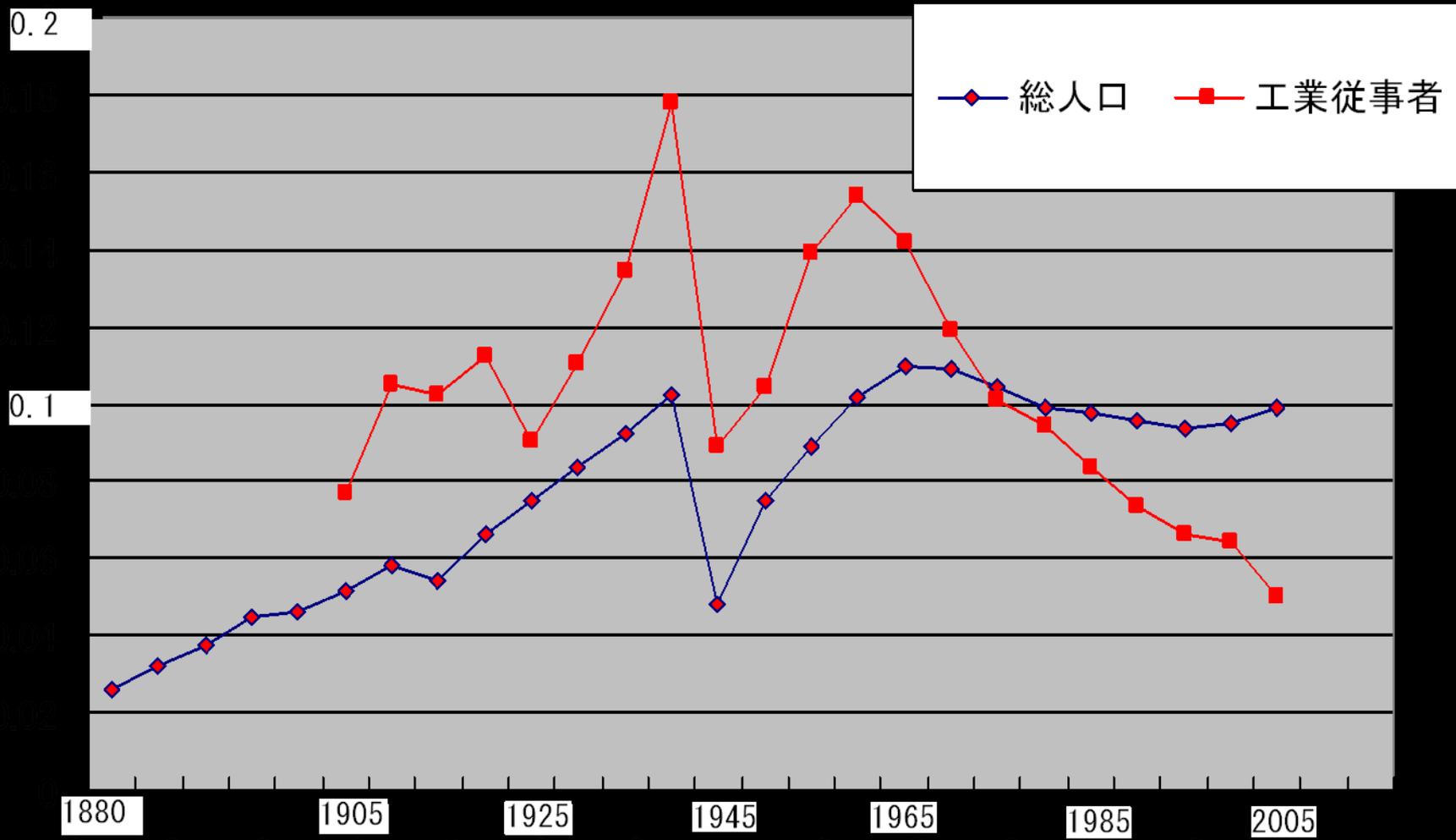
隠田水車
葛飾北斎 富嶽三十六景



東京の人口と全国・東京の工業従事者



東京の比重（内地・全国に占める比率）



明治14(1881)年の官民工場



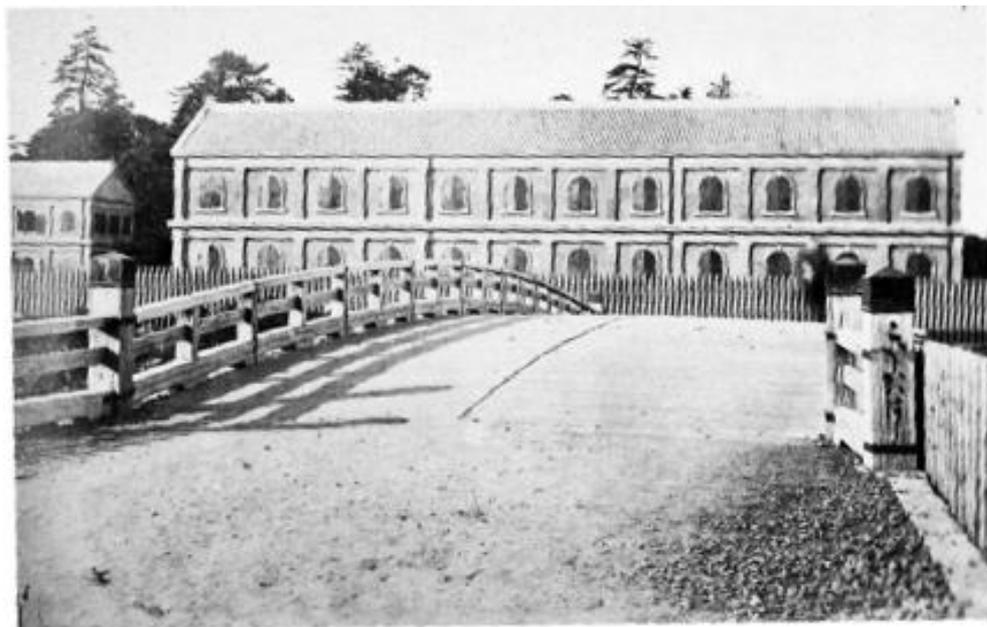
禁複製 『アトラス東京 地図でよむ江戸～東京』正井泰夫、平凡社、1986年

印刷局



‡小沢健志・鈴木理生監修『古写真で見る江戸から東京へ』
(世界文化社、2001)

東京砲兵工廠



†小沢健志・鈴木理生監修『古写真で見る江戸から東京へ』
(世界文化社、2001)



富岡製糸場(群馬県富岡市)





明治五年

赤羽工作分局

工部省赤羽工作分局 のち海軍兵器製造所 荷揚げ場



‡小沢健志・鈴木理生監修『古写真で見る江戸から東京へ』
(世界文化社、2001)



‡ 2003年に復元された旧新橋停車場駅舎
<http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:Kyu-shinbashi.JPG>

銀座煉瓦街 四丁目交差点
から京橋方向



The Far East 1874.6 横浜都市発展記念館・開港資料館『文明開化期の横浜・東京』(有隣堂、2007)

旧鉄道寮新橋工場機関車修復場



明治村所在 旧新橋鉄道工場の鑄鉄柱

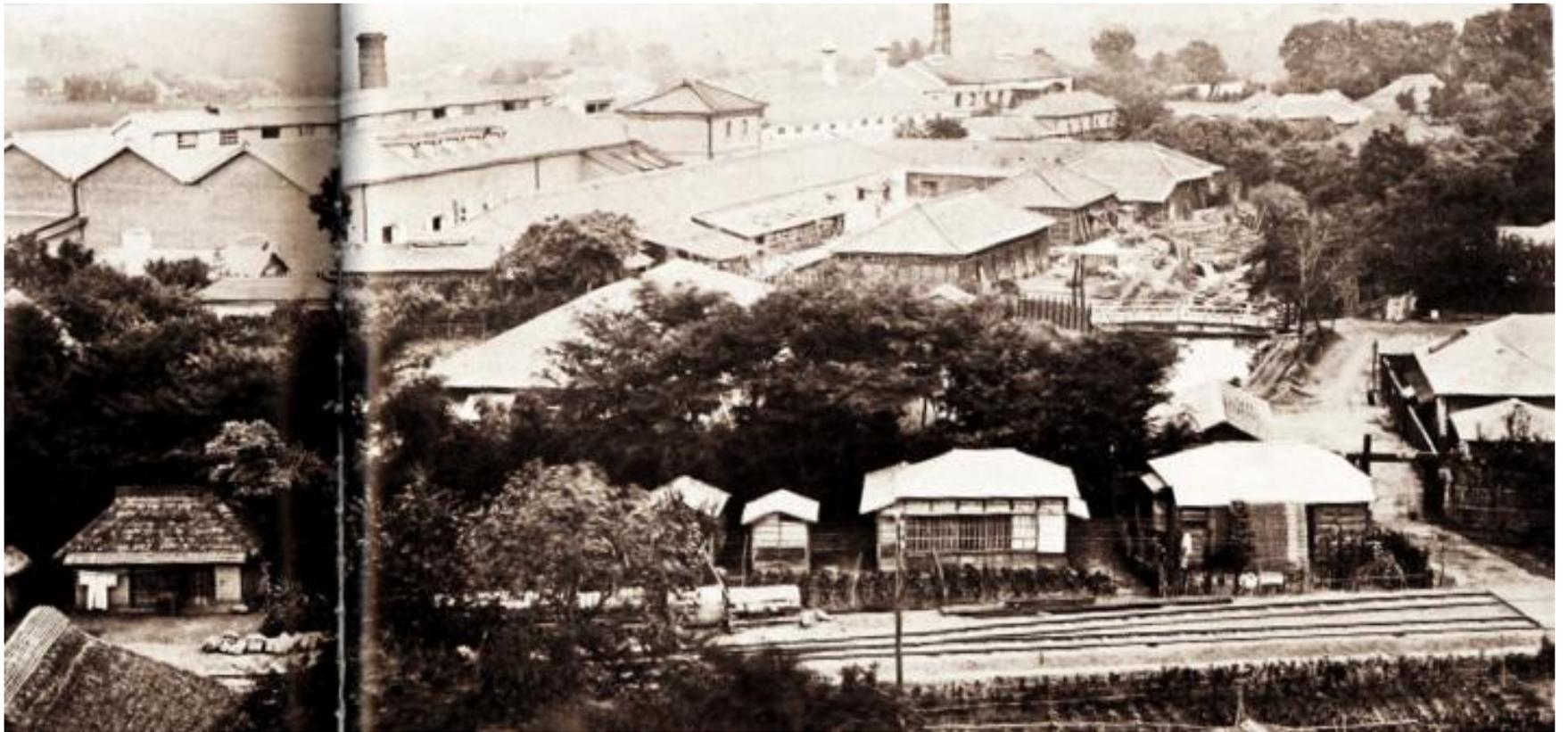


工部省品川硝子製造所



†財団法人明治村『博物館明治村』 名古屋鉄道株式会社

王子の製紙会社



‡小沢健志・鈴木理生監修『古写真で見る江戸から東京へ』
(世界文化社、2001)

第二回内国勸業博覧会案内



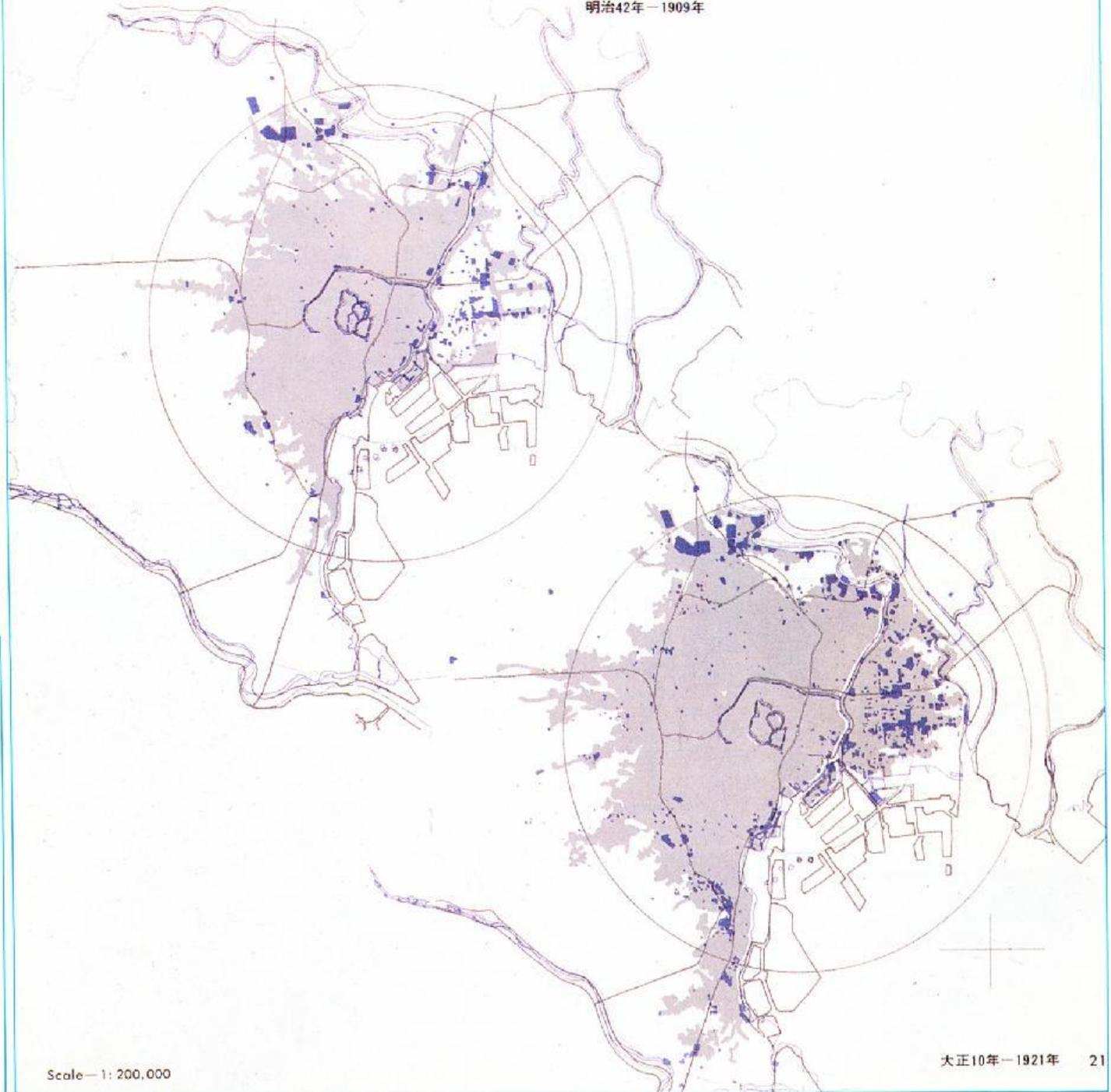
附 録 東京府下並上野外近傍所存在有益の場所

持主及場名	観覧時間	経路	區町村名	車馬人員制限
工部省所屬 工部大學校	午前九時～午後四時 日曜日大整日土曜日	手 敷 料	麹町區虎ノ門内	観覧印証換場所 東京府下並上野外近傍所
製鐵場	全		多摩郡平井町	全
絹子製造	全		深川區津住町	全
電信修技校	午前九時～午後三時		香取郡北品川	全
電信機械製造	全			全

依操傳習所	午前九時～午後十一時 土曜日は休校日大整日	神田區一橋通二番地	一日五十八
東京大學校	午後四時～午後六時 日曜日午後六時～午後八時	同區麹町三丁目一番地	一日五人
病 院		本郷區尾山五丁目十三番地	上野公園等場等
紡績木綿	午前八時～午後四時	北野區尾山町四丁目	
養生社	午前九時～午後四時	人合区	
全 木 綿	午前九時～午後三時 一日十六日大整日	墨田區尾山町三丁目	
織物場	午前八時～午後六時 一日十五日大整日	本郷區尾山町一丁目十八番地	
製紙場	午前九時～午後六時 日曜日大整日	北野區尾山町百四番地 一人全收買	全

明治42年1909
大正10年1921
の工場分布

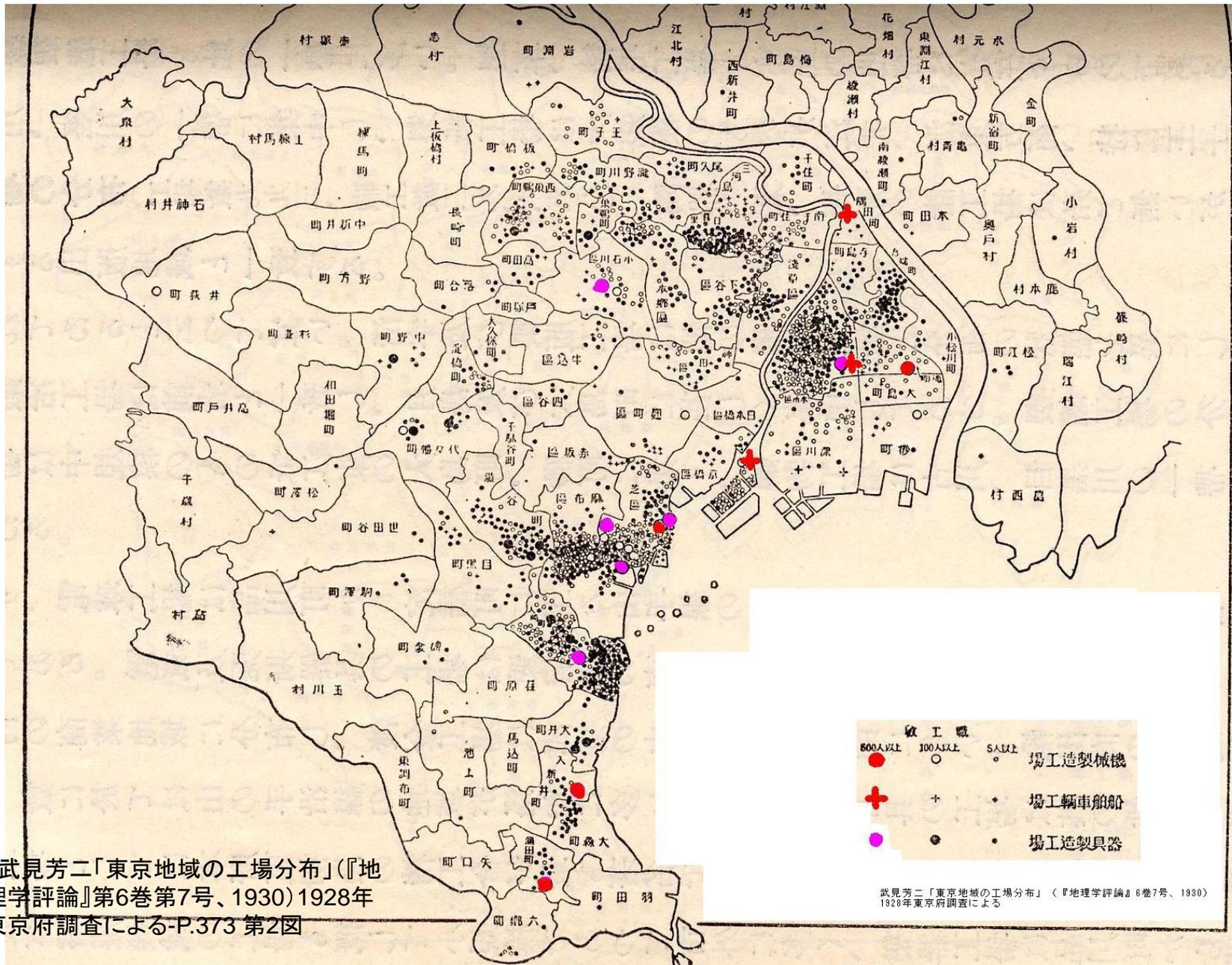
日本板硝子『SPACE
MODULATOR』No.38



明治11年—1878年

Scale—1: 200,000

昭和3(1928)年機械器具製造



†武見芳二「東京地域の工場分布」(『地理学評論』第6巻第7号、1930)1928年
 東京府調査による-P.373 第2図

武見芳二「東京地域の工場分布」(『地理学評論』6巻7号、1930)
 1928年東京府調査による

第一圖 染織工場分布圖

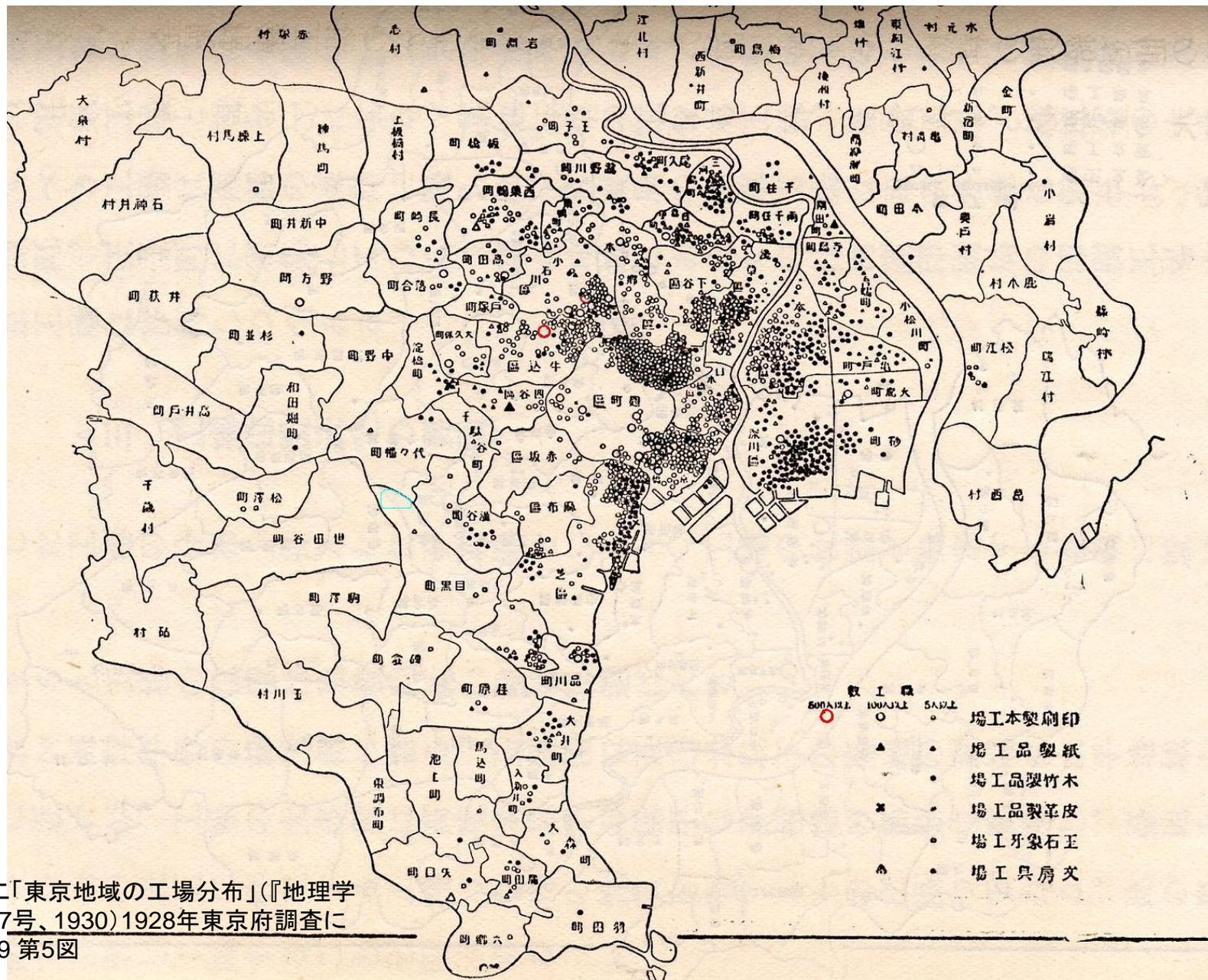


500人以上 紡織工場
 〇 襪織工場
 △ 糸織工場
 ◻ 製織工場
 ◻ 色織工場
 ● 染織工場

†武見芳二「東京地域の工場分布」(『地理学評論』6巻7号、1930)1928年東京府調査による-P.371 第1図

昭和3(1928)年雑工業

圖 雜工場分布圖



†武見芳二「東京地域の工場分布」(『地理学評論』6巻7号、1930)1928年東京府調査による-P.379 第5図

旧板橋火薬製造所建物

